

○研修会一覧

(1) 平成30年度中小規模研修会

(介護関係者向け, 医療関係者向け, 函館オープンカンファレンス)

ア 介護関係者向け研修会

日 時：①平成30年5月25日(金) 18:30～19:30

②平成30年8月23日(木) 18:30～19:30

場 所：市営函館競輪場テレシアター (①, ②)

テーマ：「病院の機能と役割について知ろう！」

講 師：独立行政法人 国立病院機構 函館病院 相談支援室
医療ソーシャルワーカー 廣瀬 量平 様

参加者：79名(①), 65名(②)

イ 医療関係者向け研修会

日 時：①平成30年5月24日(木) 18:00～19:00

②平成30年8月29日(水) 18:00～19:00

場 所：社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 (①)
市立函館病院 (②)

テーマ：「介護保険の概要～退院を見据えた展開～」

講 師：函館市地域包括支援センターゆのかわ
保健係長 京谷 佳子 様

参加者：96名(①), 47名(②)

ウ 函館オープンカンファレンス

日 時：①平成30年4月26日(木) 18:15～19:30

②平成30年6月19日(火) 18:15～19:30

③平成30年8月31日(金) 18:15～19:30

場 所：独立行政法人 国立病院機構 函館病院 (①)
社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 (②)
市立函館病院 (③)

進行役：医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院
副院長 川口 篤也 様

参加者：147名(①), 126名(②), 116名(③)

(2) 第4回函館市医療・介護連携多職種研修会

日 時：平成30年10月20日（土）14：00～17：00

場 所：函館国際ホテル

テーマ：地域での看取りを知る～その現状とこれから～

内 容：

① シンポジウム

(座 長)

医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院 副院長 川口 篤也先生

(施設医)

社会福祉法人函館厚生院 介護老人保健施設 ケンゆのかわ

施設長 老松 寛 先生

(在宅医)

医療法人社団守一会 北美原クリニック 理事長 岡田 晋吾先生

(病院医)

医療法人敬仁会 函館おしま病院 院 長 福德 雅章先生

② グループワーク

③ 意見交換会

参加者：306名（うちグループワーク参加者196名）

ホームページ上で掲載した研修情報一覧(平成30年4月～10月)

月	研修名称(団体名)	件数(件)
4月	第46回定例会 『在宅・施設で予期せぬ死亡(急変)時にどう対応するか』 (道南在宅ケア研究会)	1
5月	『特定健康診査の効果について～10年間の成果と今後の展望～』 (函館市 市民部国保年金課)	2
	平成30年度 函館市難病医療講演会 『シェーグレン症候群について』 (市立函館保健所 保健予防課)	
6月	『安全運転講座』 (函館市 保健福祉部高齢福祉課)	1
7月	平成30年度 MOPN市民公開講座 『人生の最終段階について考える～備えあれば憂いなし』 (道南在宅ケア研究会)	1
8月	第51回 道南地区老人福祉施設職員研究大会 『～未来ある施設に向けての原点回帰～』 (道南地区老人福祉施設協議会)	2
	平成30年度 第1回 函館市地域包括支援センターケアプラン研修 『地域包括ケアシステムとケアマネジャーの役割について～法的根拠から学ぶ』 『動き始めた地域包括ケアシステム第2弾! 求む、意識改革! どうしたい? 函館の地域づくり』 (函館市地域包括支援センター)	
9月	平成30年度 合同研修会 『お互いを知ってより良い関係を! ケアマネと訪問リハの専門性とは? 第2弾』 (函館市居宅介護支援事業所連絡協議会・ 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会)	2
	平成30年度 難病患者 在宅療養支援学習会 『多発性硬化症患者への在宅療養支援について』 (市立函館保健所 保健予防課)	
10月	平成30年度 第2回 函館市地域包括支援センターケアプラン研修 『人口減少社会における介護現場でのケアマネジャーに求められるスキル』 (函館市地域包括支援センター)	2
	第48回定例会 『希望を叶えるアプローチ』 (道南在宅ケア研究会)	
合 計		11

(その他) 函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会

8件

専門職ができること ～15職種の紹介～

第1回 『医師』

在宅で、本人、家族の意向に伴走するために、あくまでも医療が生活を支配しないように気をつけています。

もちろん、状態変化の際に医学的なことはきちんと勘案したうえで、検査をするしない、病院にお願いするしないも含めて、何が本人にとって最善かを一緒に考えていくように努めています。病院でするような医療処置を在宅でするのが最善であれば、なんとかそれに応えるように努力します。

また、在宅医療に関わる職種の中で、訪問看護師、介護士、ケアマネジャーなどがメインに関わることになるので、医師の役割はチームが円滑に進むように邪魔をせず、いざというときは責任を取る姿勢でいることも大事ですね。

医師にしかできない仕事は、実は死亡診断書を記載することだけかもしれません。

ご回答していただいた方

道南在宅ケア研究会 幹事

医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院

副院長 総合診療科科長 かわぐち あつや 川口 篤也 様



専門職ができること ～15職種の紹介～

第2回 『看護師』

在宅で生活するなかで、医療や介護が必要になった場合に、気持ちに添ってお手伝いさせていただきます。

点滴や傷の処置、体に入っているチューブ類の管理など、皆様と一緒に行います。

特に喜ばれているのは、24時間緊急時対応を行うということです。在宅へ戻ることを迷っている方にとっては、その対応が背中を押すことになるようです。

療養相談、助言等、いざとなれば緊急訪問して療養生活を支えます。医師、ケアマネジャー、その他の職種と連絡を良く取り合いながらすすめるので安心です。

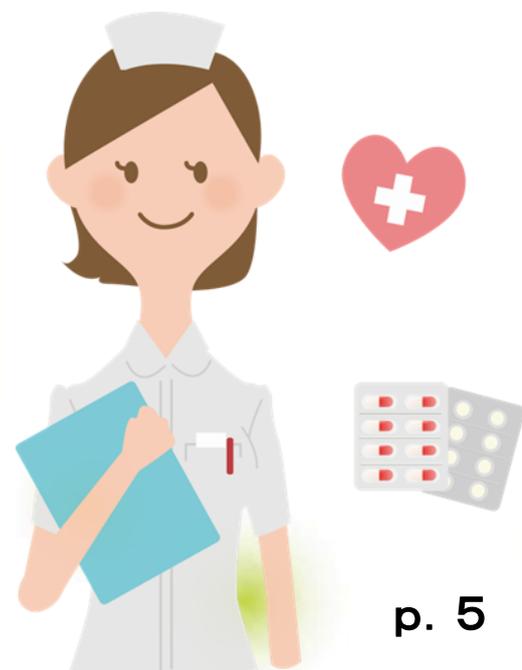
生から死まで「自分らしく生きる」ための伴走者としてお手伝いできたなら幸いです。

ご回答していただいた方

道南訪問看護ステーション連絡協議会会長

訪問看護ステーション オハナ

代表 たかはた ともこ 高畑 智子 様



専門職ができること ～15職種の紹介～

第3回 『保健師』

保健師は、地域に住む赤ちゃんからお年寄りまでの方々が、その人らしく健康な生活が送れるように、予防的な視点を持ちつつ、さまざまな保健活動をしています。

渡島保健所では、主に難病・精神障がい・結核・感染症対策を、市町では母子・成人（生活習慣病）対策、函館市はその両方について活動しています。

また、活動方法も多様にあり、個人を対象に家庭訪問や保健相談、集団を対象とした健診や教室、職場や町内会等に対する健康教育（出前講座）等があります。

関係者の方々とも、研修会や会議等で地域の課題を分析したり共有したりしながら、地域全体の健康保持・増進に努めています。

所属がさまざまでわかりづらいと思いますが、間口が広いのが保健師の特徴です。まずは、ご一報から！

ご回答していただいた方

北海道渡島総合振興局保健環境部

保健行政室 企画総務課企画係

主査 かさじま ふさこ
笠島 総子 様

